

全国的に人口減少が進む中、白岡市は人口を維持し続けていますが、市を取り巻く社会経済情勢は、少子高齢化やグローバル化の進展、市民ニーズの多様化などにより大きく変化しており、生活様式や価値観についても新型

コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、大きく変わりつつあります。このような状況の中、市が将来にわたって持続的な成長を維持していくためのまちづくりの指針として、「第6次白岡市総合振興計画」を策定しました。

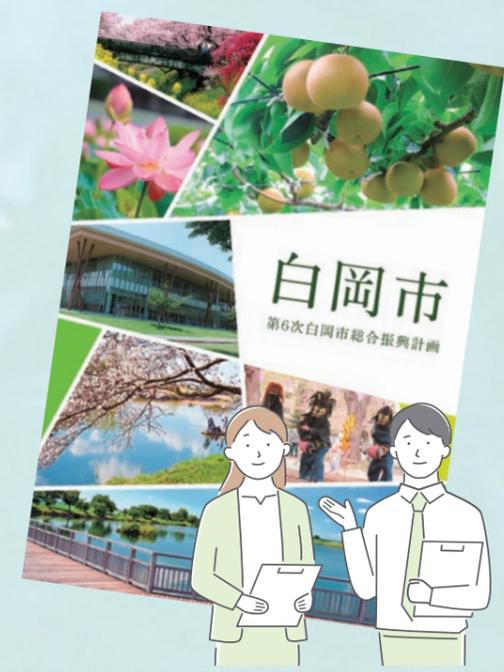
〔 まちづくりの基本理念 〕



総合振興計画とは

まちづくりの基本的な方向を示す市の最上位の計画であり、長期的な展望に基づいて市におけるまちの将来像を示すとともに、総合的かつ計画的な行政運営を図るため、各行政分野の方針などを明らかにするものです。

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
基本構想 10年間									
前期基本計画 5年間					後期基本計画 5年間				



3つの重点取組項目

1 交通ネットワークの充実

白岡駅へのアクセス道路となる都市計画道路白岡宮代線、白岡駅東口線、白岡駅西口線など、東西方向の道路整備を推進します。また、駅を中心とする市街地と周辺の居住地域を結ぶ幹線道路の整備、都市機能の誘導や公共交通の充実により、快適で誰もが住みやすいまちを目指します。



2 農地利活用の促進

農業法人や認定農業者などの中心経営体に対する農地の集積・集約化を進めるなど、合理的な農地利用を推進します。また、農業法人の参入を支援するなど、遊休農地の解消や地域雇用を促進し、地域農業の活性化を図ります。



3 行財政改革の推進

市の事業の在り方や施設の適正配置、組織運営体制などの見直しを行うとともに、選択と集中による予算の重点配分や、積極的な歳入の確保を図ります。また、DX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進することにより、質の高い市民サービスの提供を図ります。



SDGsへの取組

SDGs(Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない」持続可能でより良い社会の実現を目指すため、平成27年(2015年)に国連加盟国の全193か国の賛同により採択され、令和12年(2030年)までに達成が求められる世界共通の目標です。市においても、SDGsの考え方を本計画に取り入れ、SDGsの達成に寄与する取組を進めます。

